

世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2013.6.5 No.167 連絡先 FAX 042-555-1911



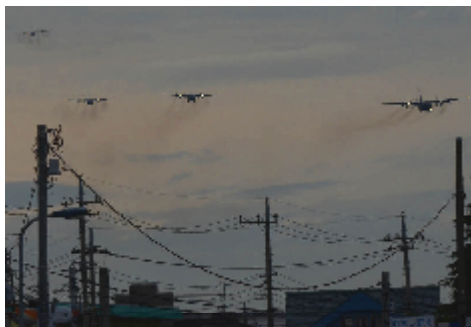
横田で パラシュート訓練が毎日のように行われている 今年100回以上



5月29日の yokotajoho のブログを見ると、この日、横田基地では16時頃から18時頃まで、C-130Hが4機で編隊飛行を行い、計8個のパラシュート投下訓練を行い、夜は20時頃から4機編隊で、2機がLEDが点滅する荷物をパラシュートで投下した、とあります。1日で計10個です。

今年のパラシュート訓練は無届けで、たびたび実施しているようなので、ブログ制作者に聞いてみました。

「今週は28日(火)から31日(金)まで、毎日やっています。C-130が飛んでいる時はだいたいやっています。」「今年は多分100回は超えてるでしょう。」とのことでした。驚きました。



C-130は、パラシュート訓練だけでなく、対地高度約1000mからの急降下、低空での急旋回、ローパスやタッチアンドゴーなどを行っており、夜間でも訓練をしています。米空軍の「航空機空中衝突防止のために」という小冊子には、強襲離着陸訓練を行う強襲帯の存在も明らかにされています。

空にC-130を見たら、飛行機騒音が聞こえたら、横田基地で何の訓練が行われているか想像してみてください。

オスプレイは富士に来るな！と「住民の会」を結成した 東富士に行く

米海兵隊「キャンプ富士」のある静岡県御殿場市で3月31日、「東富士へのオスプレイ飛来・配備・訓練に反対する御殿場・裾野・小山の住民の会」が結成されました。

米軍は「環境レビュー」で、岩国基地とキャンプ富士に2機～6機のオスプレイを派遣し、本土の低空飛行訓練の拠点にするとしています。



キャンプ富士が拠点になれば、キャンプ富士に隣接する広大な自衛隊の東富士演習場(御殿場市、裾野市、小山町、横田基地の約11倍)は、オスプレイの訓練場になるでしょう。東富士演習場には、防衛大臣が直轄する富士学校があり、東部方面隊第1師団に所属する駐屯地があり、約6,430人(2008年1月現在)の自衛隊員が常駐しています。

東富士演習場は陸上自衛隊富士学校長が管理しています。



6月1日、横田基地もいない！市民実行委員会や、横田基地の撤去を求める西多摩の会などの人々が東富士を訪ねました。

(写真上：案内をしてくださった住民の会の事務局長・渡邊希一さん。写真下：東富士演習場。)

東富士演習場では 新型の10式戦車が 訓練をしていた… (No. 167 の裏面)



当日は土曜日で、街では普段着姿の米兵を見かけましたが、自衛隊は10式(ひとまる式)戦車で訓練をしていました。

10式戦車は、重量が44トンもありますが、最高速度は時速70kmと早い。目の前でスピードを上げて直進し旋回する様は、やはり怖い。東富士演習場では104号越え訓練が激しく行われ、日本では毒物に指定されている白りん弾も使用されています。

富士山の麓で実弾砲撃訓練、許せません。富士を撃つな!

東富士演習場に約3万㎡の 市街地ゲリラ戦専用の訓練施設があった!



東富士演習場の北端に近い須走口登山道入口近くに陸上自衛隊富士学校

があり、西側に隣接して「市街地訓練施設」(縦約150m、横約200m、建物11棟)があります。

市街地ゲリラ戦専用の訓練施設で、国内最大規模を誇り、市街地における攻撃・防御等、現代の市街戦の多種多様な事態を想定した訓練を実施。この施設は2006年3月に完成しましたが、2007年5月には米軍の使用も認めるようになり、自衛隊、米軍双方が実戦的訓練を行っています。

キャンプ富士は、沖縄に司令部を置く米海兵隊の「富士営舎地区」



通称“キャンプ富士”と呼ばれる米「富士営舎地区」には沖縄のキャンプ・バトラーの管轄下にあるキャンプ・富士司令部大隊約160人が基地管理部隊として常駐しています。

広さは横田基地の約6分の1。フェンスの外から見えるキャンプ富士は、なかなか広い。ここの中に自衛隊の管制塔できたという。そして米軍も使っているそうです。

オスプレイがキャンプ富士に派遣されるとされていますが、キャンプ富士には米軍機の整備・補給機能がありません。厚木基地や横田基地に当然のように飛来してくるでしょう。東富士の住民の会と連帯しオスプレイNO!の声を上げましょう。

米空軍嘉手納基地のF-15戦闘機が沖縄本島沖でまた墜落

5月28日午前、沖縄本島沖で、米空軍嘉手納基地のF-15戦闘機が墜落しました。パイロット1人は脱出し、沖縄本島国頭(くにがみ)村の東南東約60キロの海上で救命具につかまっているところを航空自衛隊の救難ヘリが救命しました。(右:事故機同機種F-15)



F-15戦闘機が嘉手納基地に配備されて以降、墜落事故を起こしたのは、今回で8件目です。

沖縄県は29日、事故原因の徹底糾明と早急な公表、原因究明までのF-15の飛行中止、再発防止措置などを米軍はじめ関係機関に要請しました。同基地は、28日の墜落事故を受け、F-15の飛行を中止していましたが、30日、全てのF-15の点検が終了し安全が確認されたとして、飛行を再開しました。沖縄県の仲井真知事は30日、飛行再開について談話を発表し、「県民の不安を増大させるものであり、極めて遺憾」と批判。改めて原因究明までの飛行中止などを強く求めました。